

専門研究B

特別支援学校（視覚障害）における 教材・教具の活用及び情報の共有化に 関する研究

—ICTの役割を重視しながら—

（平成24年度～25年度）

研究成果報告書

平成26年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

はじめに

視覚障害教育の分野では、点字教材、触図教材、立体教材、録音教材、拡大教材等、この分野に固有の各種の教材があります。また、この分野で使用される教具や機器類にも、点字プリンター、立体コピー機、DAISY再生機、拡大読書器等、固有のものがあります。

この分野では、こうした教材、教具、機器類についての知識をもち、その活用を進めることが重要であると考えられます。特別支援学校（視覚障害）においても、自校において、その活用をさらに進めていくとともに、その専門性によって、地域の小・中学校等への支援をいっそう進めていくことが必要であると考えられます。

国立特別支援教育総合研究所では、これまで、視覚障害教育に関する研究として、特別支援学校（視覚障害）での視覚障害児童生徒等に対する教科指導をはじめとした指導の充実に関わる研究とともに、特別支援学校（視覚障害）による、小・中学校等に在籍している視覚障害のある児童生徒等に対する支援に関する研究に取り組んできました。

本研究では、その指導や支援において重要なものの1つとして、先に述べたような教材・教具及び機器類に焦点を当てることにしました。また、視覚障害教育の分野では、従前より、ICTの活用が進んでいる分野ですが、この研究でも、教材・教具及び機器類の活用等のなかでも、とりわけICTを用いた活用を取り上げることとしました。

本研究成果報告書をご活用いただき、特別支援学校（視覚障害）における指導や支援の充実の一助となれば幸いです。

最後に、本研究では、全国の特別支援学校（視覚障害）を対象として実施した調査において、全ての学校から回答いただきました。また、本研究での学校訪問調査においても、各校において丁寧に対応いただきました。本研究で、研究協力機関等としてご協力いただいた先生方とともに、この調査にご協力いただいた諸先生方に、深く感謝いたします。

研究代表者 企画部総括研究員 金子 健

目次

はじめに

I 目的と方法

第1章 目的	1
第2章 方法	3

II 結果

第1章 教材・教具及び機器類の保有状況・活用状況等調査	7
第2章 教材・教具及び機器類活用の学校事例	98
第3章 有効と考えられる教材・教具及び機器類	123
第4章 教材・教具及び機器類に関する情報共有	161

III 総合考察

171

IV 資料

179

研究体制 311

執筆者一覧 312

